

おんじゅく

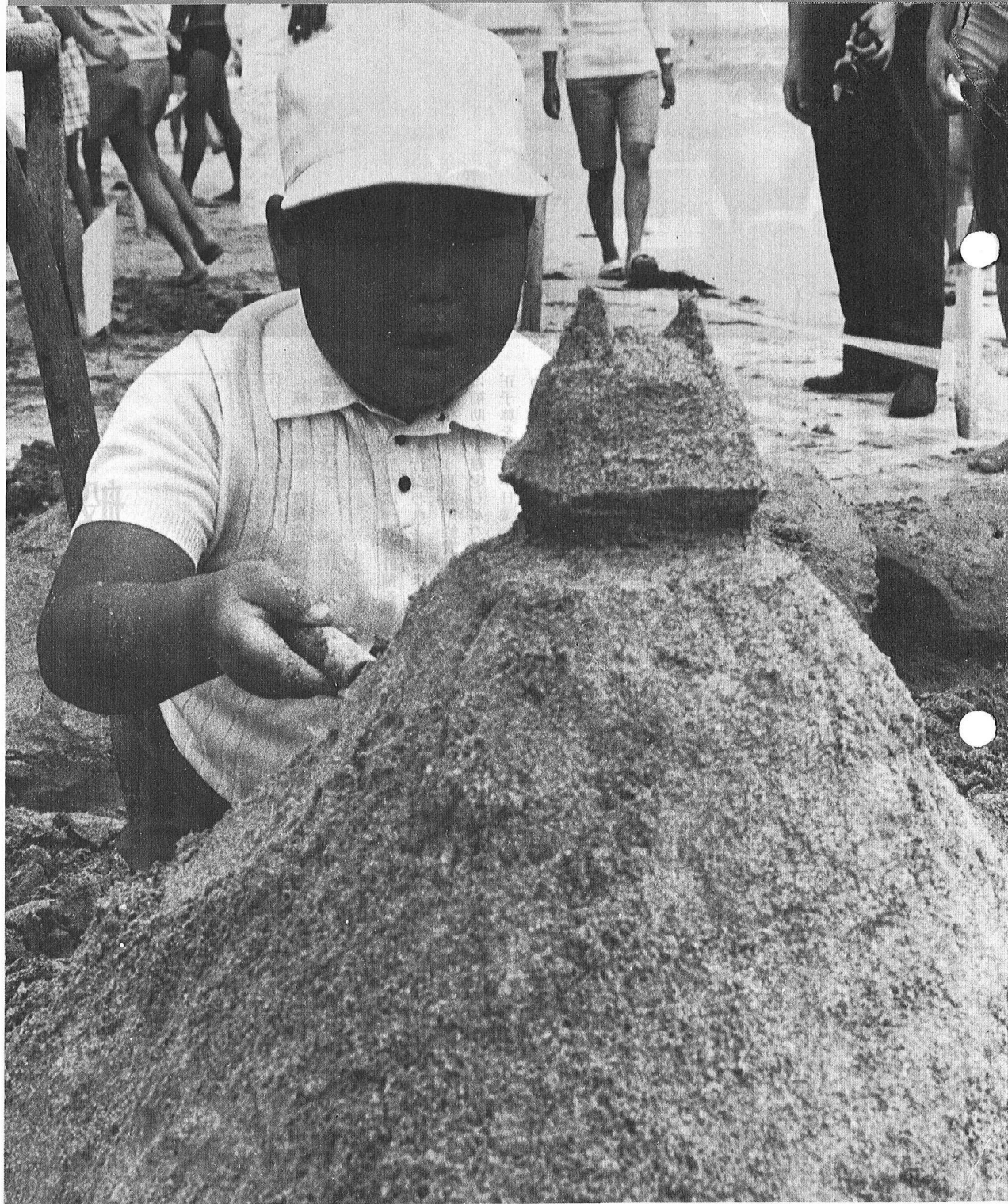
The Onjuku Koho

71-7

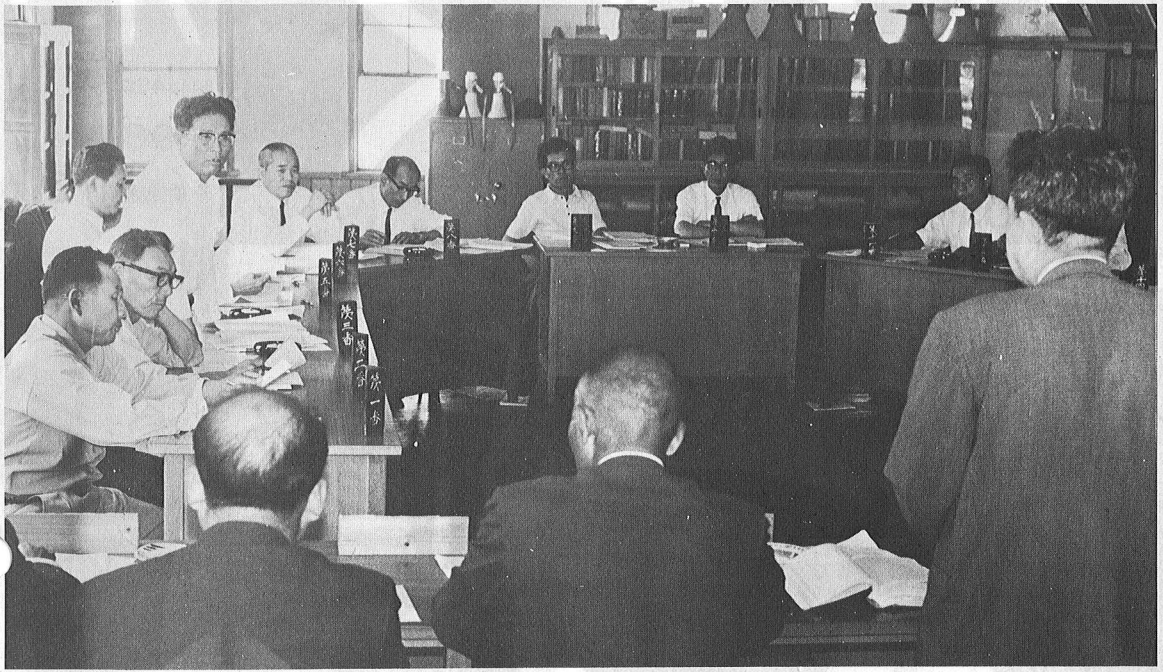
昭和46年

第98号

千葉県御宿町役場発行



豆芸術家の真剣な顔——砂の芸術コンクールより



一般会計補正予算など可決

第二回定例町議会開く

第二回定例町議会は六月二十九日午前十時五分から開かれ（一人欠席）、一般会計補正予算案など六議案を審議し、いづれも原案どおり可決されました。

第一号議案 町長の専決処分事項報告について

〔提案理由〕

昭和四十五年度一般会計補正予算は、昨年行なわれました米の生産調整に伴う事務的経費が年度末に補助金が確定したため、専決補正予算をし、本日議会の承認を求めます。

第二号議案 町長の専決処分事項報告について

〔提案理由〕

本案は、町村が加入している公平委員会の加入関係各町等の名称が変わったために（例えば町が市に昇格したとか、町村合併等が行なわれたため）専決処分をいたしましたので本議会の承認を求めます。

議案第三号 専決処分事項報告について

〔提案理由〕

この件も年度末に地方税法の一

部改正が行なわれましたので、町民税の賦課期日がないために専決処分をし、課税事務の円滑化をはかりました。以上三点について急を要するために専決処分をいたしましたので、議会の承認を求めます。

第四号議案 御宿町健康保険条例の一部を改正する条例制定について

〔提案理由〕

この件については、町議会に提出する前に、国保運営委員会にはかりました。昭和四十五年度会計を締めまして、必要以上に繰越金ができたので、この際当初予算に計上した課税よりも加入者負担を軽減するように今回税率を変えました。

第五号議案 昭和四十六年度御宿町一般会計補正予算

〔提案理由〕

本年度の予算編成に当りましても全体計画をたてた訳ですが、やはり国・県の補助事業等が年々非常に早くなってきましたが、まだ完璧とはいきません。事実、町の計画した事業のうち、当初予算に計上できない不安定な事業も何件かあります。それらについて年度がはじまってわずかですが、この議会におねがいする訳です。

まず第一に岩和田漁港の局部改良です。これは昨年より二カ年計画で行なったものです。港内に堤防を設置するものです。国の補助事業で、八百三十万円の補助金の内定を受けたものです。これと記念碑道路にさくを作るということで、三カ年計画の最終年度の事業となります。この目的を達成しますと県で千五十万円補助がつきます。

土木事業費で六百十五万円。その他でも少し不足を補うということとです。

歳入についても関連事業の補助

を算定で見込み、その他に一般会計決算をまつて繰越金の計上、町税の伸びなどを財源に当ます。以上の理由により、六月補正予算を計上いたしました。

以上第一号議案から五号議案までの質疑応答(要旨)はつぎのとおりです。

江沢一雄議員より第一号議案について担当課長の詳細な説明がほしいという意見がだされ、佐藤農林水産課長より説明がありました。減反、米の生産調整は、国の委託事務のために三月末に補助金が確定したためです。今回は、減反の面積と米の限定数量等の事務に要した賃金や会議費または視察等の経費です。

減反について数字で説明しますと、当町の水田面積は三百三十五町歩、そのうち減反は、九十五町歩を見込み、七十一、五町歩減反が確定しました。これは全体の八十八パーセントの減反になります。転作については、山林、果樹、そ菜などで約十町歩、減反に対する転作が約十四パーセントです。

ここで式田雄吾議員より、減反について、町ではそのご、どのような指導を行っているかとただしたのに対し、町長は減反について

は、国の方針によってやってきたが、減反以上に収入を得られるよう、農業経験の深い者等から委員会をつくり、町長の諮問機関として答申を求めて、当町に適した作物をみつけ、農家に補助をし、育成していくことになりました。

さらに佐藤課長がつぎの三点について農業振興対策委員会で決定したことを報告しました。

一、町として推奨作物を定める

二、試験圃をつくり収益検査をする。

三、良い種を試験的に作っていくことになった。

第四号議案について大谷税務課長より詳細な説明があったのち、江沢一雄議員がたち、老人の十割給付の影響についてただしたのに対し、大谷税務課長は、八十歳以上の老人の医療費については影響がないと答弁。ついで大地議員が来年度七十五歳以上にした場合の財源についてはどうかとただし、税務課長は、もし七十五歳以上から適用した場合、当然補助金が多くなりますが、税収(国保税)以外に財源がありませんので税負担はあがってきますと答弁。ちなみに郡内各町の一世帯当り負担額は大多喜町一万九千円

大原町二万二千四百円
夷隅町二万二千五百円
岬町一万七千六百円
御宿町一万八千九百円となつています。

第五号議案については和田総務課長より説明があったのち質疑に入り、石田、小池、君塚(久)、江

●一般質問から

岩和田区の側溝整備を

岩崎栄一郎議員

住民すべてが平等な行政の恩恵を受ける権利がある。
岩井町政は、過去四年間、またこれからも岩和田出身であるということから、よその地域を手がけてから岩和田をという、けんきよな気持ちでやってきていることに対し尊重している。
そこで当局へのお願として、岩和田地先の扇町から仲宿に通じる道路舗装についてその計画があるか。またあるとするならその時期について伺いたい。
岩和田区内の側溝の完備されていない所の整備と舟谷地先の道路の補修についても早急におねがい

沢(一)、松本の各議員より質問がありました。砂の芸術コンクール、駅前植樹、布施小通学路、記念碑道路、栄養教室、職員の被服補助等の説明を担当各課に求めました。
以上第五号議案までいづれも原案どおり可決されました。

新町仙人塚地先の道路の整備計画が必要であるが、こんご整備をするのかしないのか、はっきりしていただきたい。
鶴岡企画建設課長 扇町から仲宿に通じる道路舗装については、財源を多く必要とする事業であるので、地元ははじめ上司とも十分相談をし、なるべく早い時期に実施したいと考えている。
第二点の側溝問題は、後宿と下宿の両側は夏が終了しだい着手したい。ほかにサンドスキー場昇り口の延長をやる。また、今後舗装をしなければいけない箇所は、保

育所(岩和田)の裏脇側、入宿の片側、扇町地先、海岸通りの側溝の改修はできるだけ早い時期に結論をたしたい。
小浦線の問題は、幅九メートル延長千三百メートルの区間、道路観光公社との計画に合せ、本年中に買収を終えたいと考える。
新町仙人塚地先は、買取にかかったが不調に終わったようである。この地先は今後住宅地としての発展の可能性が多分にあるので、この拡張、用地の確保に努力したいと考えている。
岩崎 小学校統合についてその後の見通しと今後の具体策について伺いたい。
町長 このことについては、教育委から数回にわたり、慎重に検討の結果、岩和田小学校については、もつとも早い機会に統合すべきだとの答申がだされた。
小学校の場合、伝統も長いし、部落的なよりどころという考えが強く、そうとう困難なことは当初より考えている。しかし時間をかけ討議してきた。昨年十月ごろから公式に部落にはかろうというところで、何回か会合を開いたがなかなか結論がえられなかった。しかし早い機会に再びこの話し合いをつけていきたい。

民芸品を保存しよう

石田行雄議員

観光発展に伴い、ともすれば貴重な古い歴史が忘れさられていくのは遺憾である。

観光発展に伴い、ともすれば貴重な古い歴史が忘れさられていくのは遺憾である。

佐藤教育長 現在の町の状況は国、県も力を入れていようです。東大の助教が夏御宿の民芸品風俗を研究することになって、当町にどのくらい民芸品があるかわかると思いますが、公民館図書館建設と同時に貴重な資料として保存していきたい。

待に添わねばならない。そのためには十分な給与をもって報いなければならぬ。当町における新採用の状況、つまり試験、給与、あるいは職員時間外手当、課長管理職手当などは郡内他町の現況にたいし改善を求めらる。

また事務能率のため機械化の必要性は、さらに課長会議の実情について

子どもの遊び場を確保

小池 健議員

一、子どもの遊び場としての用地確保について町はさきに青少年健全育成の町を宣言し、実践活動の一つとして、各区に子ども会を結成したが、その活動の場、すなわち、遊び場がない。子どもは遊びの中に人間形成がなされることはいままでもない。町はこの辺で子どものための投資として、各区に遊び場としての用地の確保を考慮してほしい。

設を含めての設置実現の意志があるか。

新町については、河川敷の関係で延びている。第二の町立図書館の建設については、二、三年前にみなさま方に現地を見てもらい、五倫文庫には貴重な資料が多いということから町に図書館を建設した方がよいということになり、一応小学校旧校舎の後に建設しようと予定しましたが、交通の混雑等の問題がでてきて図書館としてはふさわしくないと考え、国・県の補助金も考え、高校移転後の土地利用と合せて五倫文庫と図書館の建設も含めて今後考慮していきたい。

三、観光立町における社会教育の振興は論をまたないが社会教育委員の任命、とくに関係機関の公民館、青少年問題協議会等の機能的運営について伺いたい。

つぎに課長会議についても随時開いており、定められたことを一方的に流すのではなく、課長の意見等も聞くし、最終的に町の発展につながることに論議をまとめていくことに変わりはない。

岩井町長

鶴岡企画建設課長

佐藤教育長

まず最初に子どもの遊び場の件は、理想的には各部落に一カ所位作りたい意欲はあるが、財源の問題等もございしますので、すぐ購入しなくとも用地等は早急に考えていきたい。

六軒町、新町地域にも県の補助金をもらって整備していきたいが

道路の見通しの件は、県道でするので大原土木に依頼し、できるだけ見通しのよいように努力したい

町長 職員研修については、地方自治法、地方税法、一般常識を勉強する場をつくることをいま考えている。また職員の募集について

選問題ですが、従来は小学校長とPTAの代表を主体とした、社会教育委員の構成でしたが、やはり広い層から選んだ方がよいということで、今年度の改選でおおきく変更した。

職員研修に努めよ

大地 薫議員

子どもたちの遊び場設置と併行して子どもらの思索の場としての図書館の建設を緊急に望むものであるが、さきに町の有志によって提唱されている五倫こう文庫の建

一、交通事故防止のため、新宿坂地先および久保新高校進入地点における見通し確保は、小中学生通

学の際の事故防止にかかせないものでその改修を県に依頼してほしい

二、職員は研修に努め、町民の期待に添わねばならない。そのためには十分な給与をもって報いなければならぬ。当町における新採用の状況、つまり試験、給与、あるいは職員時間外手当、課長管理職手当などは郡内他町の現況にたいし改善を求めらる。

また事務能率のため機械化の必要性は、さらに課長会議の実情について

農業振興は長期見通しで

高梨秀治議員

農業振興対策協議会その後の運営はいかがか。

当町の場合過去においていろいろなものを作ったが、ことごとく

がって市場の安定性のない野菜類を栽培して妥当かどうか。このよ
うなものはそのとうとう大量に生産し
ないと市場で相手にしない。

こんにちでは、老人が農業経営
をしているのに、農業振興対策協
議会が必要か。

いまでは労務を提供すれば月に
六万前後にもなる。その収入に見
合うような作物でなければだれも
ついていけないと思う。であるか
らもつと長期の見通しに立って収
益性の高いものでなくてはいい
い。その点どう考えるか。

佐藤農林水産課長 野菜類はた
しかに値の変動がおおきく、価格
的な面で維持できるかという心配
はある。

ふき、みよが等はし的好なもの
であるが、山菜の需要が伸びてき
ているし、国の推しよう作物とい
うことを参考にした。また湿田
においても比較的転作が可能であ
る。乾田においては夏季の生鮮食
糧品の需要が増す時につくること
ができる。比較的価格の安定して
いる、運賃等の流通上の経費の少
ない等を参考にして、これらの作
物にしばった。確かにこの程度の
ことでは必ずしも満足できるも
のではない。

町長 この問題は減反調整の前
からの問題である。

御宿町に適地適産があるはずだ。
過去において失敗もあるが、この
辺で農家とみつちり相談してやっ
てみようということである。

私は一策として、御宿にモデル
ケースの工場をということで知事
に食下った。町の財政力ではと
うていけないので、県の開発公社
に依頼し、実谷地先に団地を作ら

きめ細かな行政を望む

第二期岩井町政を非常に期待し
ているが、過去における議会や町
長選後の議会での抱負をきいてい
ない。

岩井町政の過去四年間の実績は
認めるが、いままでの事業は行政
全般からの事業でなく、土、建中
心の行政であった。この点一般行
政に甘い点があったと思う。

住民に密着した細い行政が行な
われていない。例えば観光行政か
らくる公害にどのような姿勢で取
組んできたか。今後取組んでいく
のか伺いたい。とくに社会教育面
に対する町の心構はどうか。
町の若い職員が積極的に青少年

うということ、ボーリングをし
よかつたらやってみようというこ
とになった。

農家の人が単純労務で、しかも
近くで収入を得ることができると
う、農業振興と併行して、農村振
興という立場から話を進めている。
だからといってご指摘のことをや
めるというのでなく側面から農家
所得を向上させることに努力して
いる。

江沢一雄議員

活動に加わっていくという考え方
はどうか。

もう一つ夏の生鮮食糧品の高騰
の解消はできるのか。消費者モニ
ター制度の考えをききそれを育成
するとう考えじや甘い。各漁業
組合等の冷蔵庫を町費をだして拡
充して貯蔵しておくとか、具体的
な考えがほしい。

岩井町長 わたしは仕事はそ
う積極的にやってきたと思う。
これが住民にマイナスになるとか
たいして住民に関係のない仕事か
一つでもあったらどうか。私自身
過去四年間一つの仕事一つの問題
に対して人気取りでやったことは

一つとしてない。

消費行政に対する問題は、国等
でも論じられているがむずかしい
生鮮食品については、冷蔵庫を借
受けて冷凍しておくという考えも
あるが、せっかくな御宿へきた方に
冷凍物を与えたのでは満足できな
い。いま現在決手をもつてないの
でいい考えがあったら教えてほし
い。

町が観光を推進する目的には、
一人でも多くの人の所得を向上さ
せたいという考えからである。が
一面青少年問題、教育上の問題が
多い。しかし、観光の発展や外来
者の不良行為によって当町の子ど

墓地の霊園化を考えよ

墓地の統合について

観光施設もほぼ充実してきてい
る。このような時代にまだ共同墓
地が町内にあるが、このようなこ
とについて町長は今後どのような
方針で進んでいくか。

町長 墓地の霊園化というか、
統合については数年前から提唱さ
れている。

長期五カ年計画の中のものってい
るが、現在できていないのが現状

もが悪くなるという考え方はし
ていない。いずれにしても物価、
教育問題に腰をすえてこれらの問
題に徹底を期するような方策を考
えないといけないので今後は積極
的に取組んでいきたい。

江沢(一)
役場内部の機構改革について再
検討する考えはないか。

岩井町長 機構の問題――課の
縮小問題等がありますが、最近の
役場の事務はますます問題が多く
なりましようし、簡単に変更とか
統合とかすることはできない。し
かしたがいま検討を加えておりま
すのでご了承がたい。

松本勲次議員

である。

町では、火葬を数年前から奨励
してきたが、土葬を町で禁止す
ることもできない。しかし町の重
要な部分に三カ所程共同墓地が
あるがこれらを霊園化するには巨
額を要すると思われるので地方債
の制度を検討し、計画に入りたい。
もっとも適切な住民福祉と環境
整備の上からも実施したいと考
える。

ミス月の沙漠に八本嬢(18)

—恒例のミス月の沙漠

コンテスト—

八本幸子(18) 御宿町岩和

田

準ミス月の沙漠

間

野口明美(22) 大和市下鶴

那

準ミス月の沙漠

那

岡崎敏子(20) 木更津市矢

選べられた三名は、これからの観

光行事の主役を演じていただくこ

◀ミス月の沙漠に選ばれた八本さん



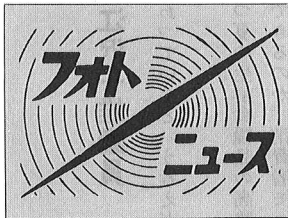
海は楽しいなあ

中央海水浴場で楽しい園外保育が行なわれました。

七月六日、保母さんに手を引かれた園児たちは、おかあさんに作っていただいたおにぎりをほおばったり、ちいさなからだをのびして波とたわむれたり、うれしいひとときを過ごしました。

写真Ⅱ波とたわむれる保育園児

根本儀文 職員



墓前の盡園外さきくし

ことしも婦人会の野菜の即売がはじまりました。

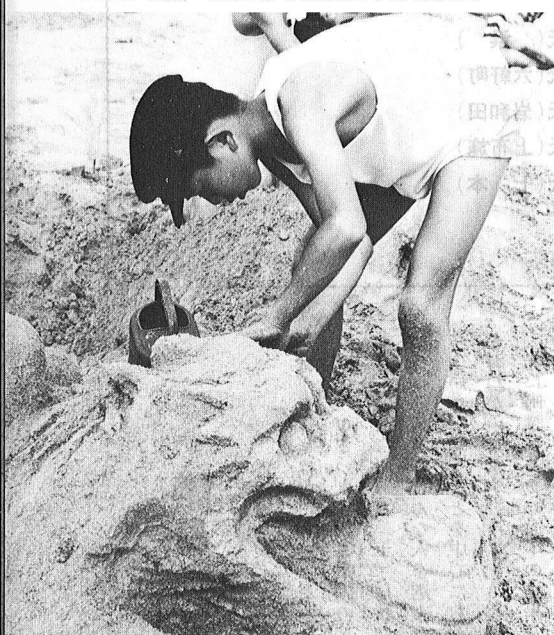
二、七の市の日に店をだし、新鮮で安く、そのうえ豊富な品数がお客さんに喜ばれています。なかでも、とうもろこし、枝豆、かぼちゃといったところが人気の中心だったとか。

写真Ⅱことしも人気のあった婦人会による野菜の即売



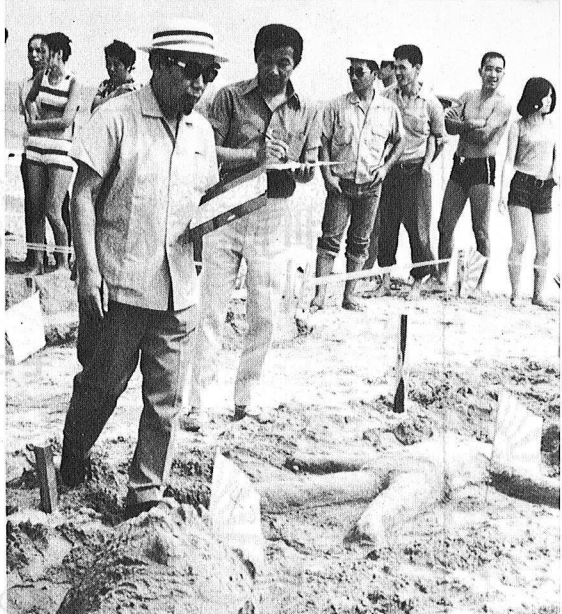
▲慎重に基礎づくりに懸命

▼みごとと第一位になった渡辺くんの駒犬



砂の芸術コンテスト

豆芸術家腕を競う



▲審査員も力作ばかりで苦心しました

▼みごととにできあがりつつあるカバくん



多いカナヅチ党、小学生にプールを開放



町営プールを管内小学生や保育園児に開放し、楽しい一日をすごしてもらいました。

七月一日から七日まで各小学校交替でプールを利用し、おおはしゃぎ。

プールで泳ぐのははじめてという児童が多く、ほとんどがカナヅチ党でした。

写真はカナヅチ返上にけんめい。

広い砂浜、子どもの夢をえがこうという、砂の芸術コンクールが七月十八日、御宿中央海水浴場で開かれました。
この日集まった豆芸術家はおよそ五十名。
一時間の持時間のうちにみごとに作品をつぎつぎと作り、審査員

や海水浴客もびつくり。
なお審査の結果、勝浦市興津中二年生の渡辺くん他九名の入賞者にトロフィーや楯などたくさんのお賞品がおくられました。(主催御宿町、砂の芸術委員会)

町議にはこんな人を選ぼう

— モニターのみる議員像 —

ご出席の人たち

井上弥太郎氏(浜)
清水礼司氏(六軒町)
山田美次氏(岩和田)
西川晴夫氏(上布施)
吉田良夫氏(七本)

議員数よりやる気

司会 きょうはお忙しいところあ

りがとうございます。ご案内のと
おり、九月二十五日(土)に行な
われる町議選にどんな人を選んだ
らよいかということを中心にお話
をおねがいます。

先に町議インタビューの結果、
十六名の方は、再度、町民の代表
として、立候補の意志表示があり
残る二名のうち一人は辞退、一人
は考慮中という回答をいただきま
した。そこで、町議の定数は何人
ぐらいが適当なのか、もつとへら
したらいいか、逆にふやしたら
いいのか、いかがでしょうか。法
律からすると、当町の場合二十二
名までおくことができるわけです
が。

西川 夷隅郡の場合はどうなんで
すか。



西川さん

吉田 当町は二十二名のところ十

八名というのは、町の条例によっ
て定められているわけですね。

はい、そうです。

最高二十二名まではいいいとい
うわけですね。

山田 二十二名でもさしつかえな
い、現時点の人口では二十二人で
よいということですが、これでは
多すぎるということで、町条例を
改正し、減らしたのですね。それ
でもまだ多いのではということだ
すね。こういうことは我々にはむ
つかしいことですね。町財政との
かねあいもありますが、今、月二
万五千円ぐらいでいい働きができ
るかという問題もありますが、そ
の額を上げて、よけい働いてもら
うということであれば、定員の問
題も話題となるでしょう。

清水 議員さんの仕事はこの前の
選挙時とくらべてふえているので
しょうね。

町民の町政に対する要望が
非常に増えていますし、したがっ
て町自体の仕事もふえていますか
ら、当然仕事はふえてると思いま

すよ。町民からの要望に神経質に
なっているというか、敏感になっ
ています。だから議員さんの仕事
はふえていると思いますよ。これ
からとくに神経質になりますよ。
選挙前ですか(笑い)

井上 定数をふやす必要はないの
では。

山田 たしかにふやす必要はない
ですね。

井上 当町の場合、人口五百人に
議員一人という割合ですね。数が
少なくとも真剣にやる気があれば
できるんですよ。

西川 最終的にはそれしかないで
すね。

井上 現状維持でいいじゃないで
すか。

司会 こんどの選挙は、下馬評で
は、何人か増えそうなんです
が、町議に立候補したいというこ
とはいい傾向だと思えますが。

清水 ふえてくることは結構です
がね。立候補者がふえるたびに、
選挙がだんだんきなくなるんじ
や困りますからね。

井上 研究心の旺盛な若い人にど
んどん立候補してもらって、選択
の範囲を拡げるといいことはい
いことだと思いますね。

山田 選挙ごとに二、三名くら

若手議員ができて新陳代謝が行なわれることが必要です。マンネリ化したのではいけません。

井上 四期、五期というのは長すぎますね。新しい空気をふきこむには、若い人にどんどん立候補してもらうことです。

山田 時代の感覚の問題がいちばんで大切ですね。いまの若い人の考え方と、新鮮さを議会に注入していきたいですね。

清水 町議選には、なかなかむづかしい特殊な問題がありますから西川 そういう問題を打破してこそ議会の権威が高くなると思えますね。いつも同じようなことをやっているように見えます。

清水 有権者が頭を切りかえなくちゃー。

井上 有権者六千人の中には、ほんとうにこういう人に立ってもら

血縁、地縁の町議選

山田 それでも御宿は、まだいい方ですね。よそでは、もつともつと露骨なところがありますよ。

西川 近隣の町の影響が多分ありますね。

えればなあという人がいますよ。ところが、おしいかな、そういう人は立候補してくれませんね。でたい人よりだしたい人ということばもありますが、だしたい人というのは、なかなか立ってくれません。

西川 また選挙に金がかかりすぎるといのが問題なんですよ。

井上 問題はそこなんです。選挙ごとに悪くなっていますよ。実際。例えば、物をもって頼みにいくというところは、その有権者をぶじよくしていると思います。この人に物をもっていけば動いてくれるというんで物をもっていく、この人に物をもっていっても動いちゃくれない。それをどうも有りがとうございます。必ず投票しますので、感謝します。(笑い)

この意識を改めなければいけませんね。

司会 あとわずかで、町議選もはじまりますが、あなた方は、どんな所に、ポイントをおいて選挙にいきますか。

清水 目安といわれてもちょっと

むづかしいのですが、町議ということになりますと、部落的な意識がでてきます。



清水さん

井上 ほんとうは地縁、血縁をたぢきらなければいけませんね。ところがこの選挙はそういう色彩がいちばん濃いわけですね。わたしは、身辺の清潔な人。町政を勉強してくる人ですね。町長と同等くらいに町政の大局をにぎつてもりたい。そんな人をおくりたいですね。

司会 町民の代表である前になんか部落の代表であるという、部落意識が濃いのですが。

西川 現在の状態で旧御宿、岩和田と比べてみて、布施の方が遅れているようなんですね。あらゆる面で、ですから地域ということを考えてますね。

吉田 やはり地域性は高いですね。まあ第一に地域性をと考えていると思いますかね。議会等での発言でも町全般をみわたしての発言は少ないと思います。最終的には町全般ということになります。

清水 目安といわれてもちょっと

ず、その地域からということですね。

西川 現在のところ、布施のためにやっつてやろうということは少ないと思います。協議の結果そうなれば協力するでしょうが。

吉田 わたしの場合、町の中心地から五キロも離れていますから町政の恩恵が直接あるか、税の還元がどういう形であるかというところを強く感じるわけですが。末端

にいるからのひがみでもないのですがね。

西川 ほとんどが地域のことを考えていましたね。

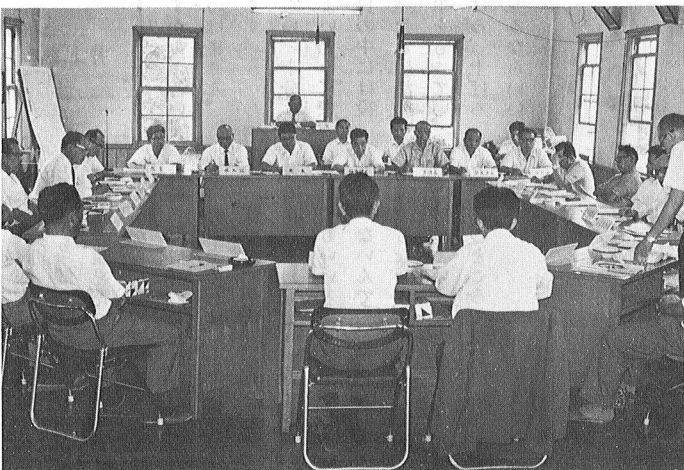
山田 きょうのテーマとしては、どういう人を議会に送つたらよいかということですから、地域の感情にとらわれない町政の発展をという意志をもっている人

現在行なわれている町政懇談会に町議がむい

ていって、各地域の住民がどういう要望をしているか、どういう考え方をしているかを、知ることも望ましいと思います。こういうことは、町議の一步前進した町議の考え方ですね。

吉田 町議が執行者以上に勉強しちゃうと執行者がたいへんですね。

井上 むしろ勉強してもらって、事務当局の尻をたたいてもらいたいと思います。



議会では熱心に質疑がかわされます

吉田 町議には、はつきりと確約できる政策をだしていただきたいほうがいいんじゃないでしょうか。

井上 いままでの選挙では、ただポスターをはって歩くだけ、どういうために御宿をこうしたいんだからという主張がない、はつきりと公約をだして戦ってもらいたい。

当選したあかつきにおいて、あの人はこういう公約のもとに立候補したんだから、それを実行するかどうかを有権者は、監視しようじゃないか。

吉田 いままでのつながりでまだでるから頼むよというんじや新鮮

もつと議会を知ろう

司会 九月定例議会は選挙前に行なわれると思いますので、モニターが議会を傍聴したら――。

西川 広報で報じられることは、かなり省かれていると思います。なまの姿を知りたいと思います。町民の関心も高まりいい結果がでると思います。

吉田 議会、当局、町民三者がおおいに勉強になると思いますよ。

味もない。政策をかかけるといことであれば、一歩前進です。町民の政治意識が高くなっていますから。

山田 やはり働いてもらって、それだけの報酬をだすという考え方がいいと思います。

吉田 議会のようにすが町民にはよくわかっていませんね。

清水 モニターの研究会の意味で議会を傍聴できないのですか。

吉田 我々一人では傍聴できない。仲間がいれば一同そろって傍聴できると思います。

山田 まあ、ふんいきというものがわかりますからね。

他の団体でも希望すれば、町の政治の意識の高揚にもつながりいいことだと思えます。



吉田さん

司会 陰の選挙戦もたけなわという？ところで、モニターという立

場から事前運動などはぜひやっていただきたいと思えます。きょうお集りのみなさんの全部が新人の台頭を望むという意見ははかれました。それではどういう政策をかかいた新人のでてくることを望むかといったところを

井上 二十代、三十代の有権者がふえていますから、当然そういう人の意志を反映してほしいと思えます。

西川 新人を望むということは、早くいえば、いまの議会が変わった方向へ進みたいと考えられます。これからは、広域行政ということを考えるともますますその感を強くします。

吉田 三分の一度度が若い人。学識者三分の一、町政を知りつくした人三分の一ということを持てればと思えます。

清水 人材がなかなかないと思えますので、現状では、グループなどから立候補させるように働きかけることが必要でしょう。

井上 清潔で実行力のある人、勉強してくれる人を望みます。率直にいつて一期は勉強ですよ。ほんとうに仕事をするのは、二期、三期だと思えます。三期やつたら引退しめんですね。三期やつたら引退し

て新陳代謝してほしい。



井上さん

山田 若い御宿町ですから、若い人がでてきなくてはいいけません。魅力ある町議を望みます。

司会 十分働いてもらい、十分に報酬をだしてやるとよいという意見もでしたが、議員の中には役場の職員の給料は純然たる生活給だし、町議は他に仕事をもっているんだし、それを上げる、上げろじやいけない。世間並みならいい

という意見もありますが、その辺はいかがでしょうか。

井上 議員報酬は、生活給でないといっても、健全財政とはいいなから町有財産を売って、たけの子財政ですから、町の執行部としては近隣の町村とのかねあいがあるのを案を出すでしょう。が、毎回、全会一致なんです。一人ぐらい、今度はみあわせようという意見があってもいいと思うんですが、職業じゃないんですから、といって副業でもないんですから、実際、町の財政ということも考えて、ほどこどのところで職員の給与も考えて。

若い人を育てよう

山田 若い人が出ないのは、生活能力がないということも加味されまますね。

吉田 若い人を選ぶ時点で、その問題が出てくるんですよ。

山田 三十代の人が町議に出ようとする、なかなか自分の商売の経営に手がかかり、なかなかできにくい。

吉田 現在、議員をやっている方は

当選しました――。つぎの日から次回の選挙運動ですよ。だから若い人が出にくいのもそこなんです。よね。

井上 月平均何日ぐらい出るんですか。

司会 平均すると月一回ぐらいでしょうね。多くて一カ月二回です。ね。

井上 その間に勉強してくれって

要望するわけですよ。我々は希望するんだから。おつとめしている人は何人ぐらいいますか。

司会 つとめている人は半数ぐらいいますね。

吉田 年代的に四十代の人は

司会 数えてみますとそうとうおりますね。

井上 そう数えてみると御宿は若いほうですね。

司会 一般の町民への呼びかけとして、議員さんは町民の代表として働いていただくんだから選挙にあたってモニターとして有権者にアドバイスをおねがいしたいんですが。

井上 金品をもらったら警察に

届けましょうという標語をつくつたら(笑い)もらっておいて警察にどうぞ、これは冗談ですけれど。

吉田 ことしは特に選挙が多かったので、有権者もなれっこになっている。これからだんだんきたなくなってくるような気がします。

極端な話、立候補者が悪いのか、有権者が悪いのか

西川 そういうことがなければ、新しい人も金がなくとも出られるんですよ。それが一番必要なんですよ。

清水 有権者自身も批判するけれども、自分たちが再認識しなければね。

司会 ちよつとぐらいのことでは刺激を受けないでしょ。(笑い)

きれいな選挙でしめくくり

井上 一番、身近で一番関係の深い選挙ですから、本当にこの人と思う人を選んでもらいたいと思います。

西川 金をもらったたりすれば、町民の権利を売ったと同じことなんです。

山田 町自体のP・Rも必要なんです。

司会 選挙自体もね、選挙の行事計画というのがあるんですよ。



山田さん

ろんな有権者を集めて、選挙の話をするとか講師をよんで、委員会の会合をやるとかという仕組みになっているけど。

司会 町の選挙の規則には町長選

相場をおぼえちゃって、ことしの相場はいくらとかいって、せめて九月で我々に関する選挙は一応終りですが、その辺で選挙本来の正しい姿にもどってもらいたい。

の立合演説会をすることができるといふ規則があります。議会にはないですね。選挙自体がやればいけど民間団体がやれば問題があるんですよ。ききめがありますよね。

西川 選挙の公報はいつごろでるんですか。

司会 これはないです。

西川 出す方法はないですか。

司会 選挙の手がまわらないでしょう。以前参議院の公報でまちがっていて、全部回収して、すりなおしたことがあります。ひじょうに神経のいる仕事です。まして身近な町議ですから選挙は選挙が終って二週間までひやひやですよ。法律どおりやればいちばんいいんですよ。なにか聞かれても、選挙法をみてから答えますよ。まちがえて答え

たから落ちたなんてことになること……。

西川 主義主張をはっきりと、ただおねがいしますといわれても

井上 実際だれが立候補したぐら

いしかわからず政策については、一般町民はわからないと思います

司会 今までは終ってから当選者から抱負をきいて広報にのせたわけですね。告示と選挙の間があればできるんですけど、おそいわけの意味ないですね。町議の立合演説会は禁止されているわけではないんですが、それも、日にちの

問題で、やることになれば、公平にやらなければいけないし、

各戸にくばるにはどうしても印刷物でなけりや

司会 日数が少ないから立候補してしめ切、それから、広報を出すことになれば、原稿書いて印刷していると間に合わないです

ね。

だから議員さんが申し合わせをしてくれればいいんですが。きたないことは絶対やめようということを決めて実行してくればいちは早いんですけど。(司会広報主任)



町議選には一人残らず投票しよう

町ぐるみで健全育成

青少年問題座談会開く

夏季観光シーズン中の青少年の非行化を防ぎ、健全な育成計画をもちより、具体策を協議しようという青少年問題座談会が、七月十五日御宿小体育館で開かれました。会場につめかけた関係者約八十



新築ブームと

旧い家

渡辺ミチ

良き事よりもあしき事のみ多かりし
 とわに消え去る住み馴れた家
 七人のあこを育くんだ家
 背くらべの柱のきず
 障子ののこぎりのあと
 なつかしい事のみ思い出す
 すみ馴れた家
 大黒柱の黒い光借金取りにかく

おめでた



二月 男10 女3 計13
 区 出生児 性別 保護者

- 須賀 江澤 健 男 洋一郎
- 浜 太刀川真弓 女 義信
- 久保 佐藤丈夫 男 邦彦
- 高梨寿恵 女 秀治
- 松本由紀 女 忠一
- 新町 桜井政徳 男 満孝
- 六軒町 佐藤賢二 男 多喜男
- 岩和田 金井正紀 男 紀美男
- 殿岡 豊 男 定雄
- 土東信幸 男 信雄
- 加藤広晃 男 恵次
- 山下佳之 男 勝昭
- 上布施 吉野健作 男 和美
- 三月 男7 女7 計14
- 須賀 渡邊久美子 女 澄男
- 齋藤勝久 男 延秋
- 石井芳枝 女 利行
- 田邊友康 男 隆
- 久我淳子 女 正八郎
- 尾口恵美子 女 忠弘
- 田中好成 男 政行

おくやみ

二月 男4 女6 計10
 区 死亡者 年令 死亡月日

- 岩和田 乾 美奈子 女 敏雄
- 中村ふとし 男 行男
- 浅野和美 女 厚
- 岩野未由己 女 清
- 長田浩史 男 善一
- 吉野孝久 男 征雄
- 西川涼二 男 輝美
- 四月 男4 女4 計8
- 桜井佳子 女 功
- 君塚幸子 女 成夫
- 新町 松本宗史 男 勝男
- 岩和田 田原伸彦 男 安
- 土東武志 男 實
- 君塚麻美 女 勝利
- 白鳥一宏 男 洋
- 吉野孝子 女 和夫

人口 (7月末現在)

男	3,805
女	4,482
計	8,287
世帯数	2,138

岩和田	山下ちよ	89	2月23日
美谷	君塚貞雄	78	" 15日
三月 男8 女3 計11			
須賀	石渡すわ	82	3月14日
浜	伊藤源治	55	" 8日
君塚かね	81	" 12日	
久保	大橋よし	51	" 13日
新町	小山平一郎	89	" 30日
六軒町	田軸六司	72	" 6日
"	三上健一郎	78	" 19日
"	山川武雄	68	" 30日
岩和田	天野平七	71	" 11日
"	市東亀吉	81	" 24日
上布施	吉野煤雄	65	" 9日
四月 男2 女4 計6			
高山田	井上久太郎	78	4月28日
久保	竹内とき	75	" 11日
岩和田	増山やそ	79	" 26日
"	竹原忠兵衛	80	" 26日
"	浅野たけ	79	" 30日
美谷	吉野麗子	41	" 23日

発行所 千葉県御宿町役場
 発行責任者 岩井敏夫
 編集者 加藤長